

7月の院内学級

池田小学校の院内学級7月の紹介(報告)です。

日中はもちろん朝夕でさえ30℃を超える厳しいお天気が続いていますが、院内学級のある東病棟4階は空調設備が完全で快適に過ごすことができます。逆に、入院中は外に一步も出なかった子どもたちが退院時は大丈夫かと心配になります。



今月もすでに10人の子どもたちが院内教室で遊んだり、学んだりして過ごしました。7月も半ばまでには、1か月以上入院していた子どもたちも無事に退院しました。その代わりに、夏休みを待っていたかのように、抜歯、アデノイド(扁桃腺)などによる計画入院の子どもたちが一気に増えました。入院した子どもは短期が多く、人がどんどん入れ替わっていきます。

さて、今月は、「入院した子どもは全員が院内学級に入らなければいけないのでしょうか？」についてお話しします。答えはNOです。義務でもなんでもありません。学習したい子、遊びたい子が来たらよい仕組みです。実際、手術有りの2泊3日の入院の場合、1日目午後に入院すると説明や検査などがあります。2日目は手術と術後の安静、3日目には退院と、ほとんど時間が取れません。こちら子どもさんと保護者様には無理のないようにと伝えています。それでも遊びたいのか時間を作ってやって来る子どももいます。1週間程度以上の入院の子どもになると、学習の心配や、何もすることがないなどで、ほとんどの子どもが来室します。その期待を裏切ることにはできません。子どもが退屈せず楽しいと感じ、「元気になって学校に戻ろう」と思えるよう接することを常に心がけています。そのためには、毎日子ども一人ひとりの体調やテンションを看護師さんと確認して、それに応じた朝の声掛けから始めます。具体的な活動は次回以降にお話しします。



院内学級には小さな書架もあります。病状などで院内学級へ来られない、あるいは、ごく短期入院の子どもたちも借りることができます。